

和良の郷だより

宵蛭号

和良おこし協議会発行



笑顔で田植え体験

田んぼオーナー制度2021

6月6日(日曜日)は、本年度の「田んぼオーナー制度」のスタートとなる「田植え体験」を行いました。



(並んで田植えをする参加者達)

朝からは曇り空で、やや肌寒い感じのお天気でしたが、作業にはちょうど良い日となりました。まずはN Cーの若出さんより手植えのコツや説明を受けてからのスタートです。いきなりバランスを崩して全身で

朝から曇り空で、やや肌寒い感じのお天気でしたが、作業にはちょうど良い日となりました。まずはN Cーの若出さんより手植えのコツや説明を受けてからのスタートです。いきなりバランスを崩して全身で

田んぼを満喫する方もあったようですが、作業は順調に進みます。初めて参加のご家族も「子どもたちに田んぼを体験させたくて応募しました」と、子ども以上におじいちゃんも楽しそうにしてくれました。初めての田んぼになかなか足を付けられない子もいましたが、

えない田んぼでしたが、作業も順調に終わり、いつもより早く終了したようです。

例年でしたらお昼に、みんな「朴葉ずし」を作る体験をしながら昼食なのですが、今回はテイクアウトのお弁当です。毎年、初めて朴葉ずしを食べると言う人もちらほらあるのですが、今年はみんな経験者のようです。少し早い昼食となりましたが、しっかり作業をして、外で食べるご飯は美味しかったです。

すぐに食べ終わると川遊びに出かけたり、水遊びをしたり、蛙や昆虫に夢中になっている子どもたちの姿も見られます。この時期のイベントという事で、他の人との距離を保ったり、マスク着用といった事はありますが、和良の空気をいっぱい吸って帰ってもらえたかと思えます。



(全身で田んぼを満喫する参加者達)



午後は、農園体験で播種を体験していただきました。酒井さんや池戸かよこさんの指導で、さつまいもの苗、里芋、えだまめの植え付けを行いました。ちょうどその頃になると陽も出てきて、すっかり青空です。午前中と違ってすっかり汗ばむ陽気ですが、この日のミッションもみんなクリアしました。

本年度の参加者は、「田んぼオーナー制度」に38組、「ファームトラスト制度・個人会員」に16組、「ファームトラスト制度・企業会員」に3企業の参加でスタートしました。お米が美味し

いとありがたいことに何口も応募をいただいた方も多かったです。次回は8月8日(日曜日)の「草取り体験」です。次回も安全に行えるように準備していきたいと思えます。また、ファームトラスト制度はもう少し先まで応募いただけますので、ご興味のある方はご連絡ください。



(午後の農園体験の様子)

幻想的な和良蛭

昨年に続き、コロナ感染症の影響で、和良蛭のご案内も控えておりましたが、和良蛭は今年も幻想的な様子でした。

和良蛭を守る会の活動もコロナ禍という事で、シャトルバスの運行なども中止でした。昨年度の反省を踏まえて、違法駐車防止と注意喚起のために、地域住民のご協力を得て駐車場の整理は行われましたが、駐車台数が限られるため、週末はお帰りがたいく場面もあつたようです。来年はきっと存分に蛭鑑賞を楽しむことができるのではないかと期待しています。蛭についての詳細に関しては、「和良蛭を守る会」のFacebookにてご案内しておりますので、よろしくお願ひします。

写真は和良蛭を守る会の会員でもある「伊藤潜水企画」さんご提供で、6月16日(水曜日)のやや強い雨の中のショットです。



(和良蛭が乱舞する様子)

和良川鮎釣り 特別、一般解禁

いよいよ和良川にも鮎のシーズンがやって来ました。特別解禁と一般解禁初日の様子をお伝えします。

5月29日(土曜日)・30日(日曜日)は、和良川鮎釣り特別解禁として多くの方が和良川を訪れました。初日は約600名ほどの釣り人が訪れて頂いたようです。朝方は強い雨が降り、水温も下がったという事で、決して良いコンディションとは言えないスタートでしたが、じきに雨も上がり、陽が昇り始めると徐々に水温も上がり、鮎も掛かり始めました。釣り人からは、なかなか渋いとの声がありましたが、釣果が上がっている場所もあるようでした。

和良鮎を守る会も今年初めての集荷を迎え、徐々に出荷に訪れる人たちにぎやかになってきました。出荷に訪れた方の釣果は20〜30匹といった方が多かったですが、なかには45匹を持ち込まれた方もありました。まだまだシーズン初めで、小ぶりなものが多かったようです。

この日から和良川のPR動画の撮影もスタートしました。お時間を作って、インタビューへのご協力も快く受けてくださった方々、ありがとうございました。シーズンを通して撮影をしていきますが、第一弾の解禁編は6月末の公開を目指しております。YouTubeやその他ご覧いただける様になりますので、お楽しみに。

特別解禁から2週間後の6月12日(土曜日)には一般解禁初日を迎えました。いつもお見かけする方々や、地元の釣り師にもたくさんお会い

しました。午前中に雨がパラつく時もありましたが、曇り空に時折陽が差すといった、穏やかなスタートとなったようです。

場所によっては、日が明けてすぐ調子が上がったところや、陽が昇り調子の上がったところなどがあつたようでした。釣果はおおむね皆さんほろほろといった感じでした。

和良川漁業協同組合の理事さんや組合長が、トラブル防止の為、解禁日前日から川を回っておりまして。どうか、皆さんが楽しい釣りができるようにマナーを守って釣ってください。



(特別解禁、一般解禁初日の様子)

焚火でヒュッゲ

6月19日(土曜日)、ホストにデンマーク出身のアナさんをお迎えして「焚火でヒュッゲを築しよう」を開催しました。Annaはデンマークで生まれの教育者サイナーです。

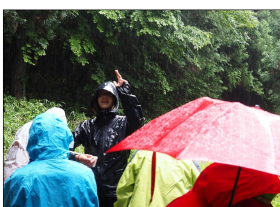
「HYGGE (ヒュッゲ)」はデンマーク語で「こぢりんな時間」という意味で、デンマークの人たちは、そんな時間を作り出すことによって自然と生まれる幸福感や充実感、そして暮らしを楽しむことをとても大切に思っています。

この日はあいにくの雨模様でしたが、まずは山道を散策しながら野草やハーブを採取します。

参加者の皆さんも、普段は素通りする野草が、実はサラダになったりソースになったりすると聞いて、興味をもって説明に耳を傾けます。摘み取って口にすると酸味を感じたり、苦みを感じたりします。木苺もちよつと実をつけ、摘み取ってその甘さを楽しんだりました。

こうして集めた野草たちは、わらおこしに戻ってペーストに仕上げるのですが、山歩きでとても乾いているので、エルダーフラワーシユースで乾杯。エルダーフラワーはヨーロッパなどでは薬草として知られています。熟した実を食べたり、シロップやジャム、化粧水などにも使われているようです。

次に「SNOBROD」を作ります。ポイイスカウトキャンプなどを体験した人には「ぐるぐるパン」といった名称でお伝えしたらわかる方もあると思います。木の枝にパンの生地を巻きつけて焼き、焼きあがったパンに野草、オリブオイル、ナッツなどを混ぜて作ったグリーンペーストをディップして食べます。パンもうまく焼けて、部屋中には美味しそうな匂いと一緒にふわわりとした優しい雰囲気になりました。そこからトーチを囲んで、子ども頃のヒュッゲな思い出を語りたり、デンマークの歌をうたったりして、心地よい時間を楽しみました。参加者の方々にも楽しんでいただけただよめで、名残り惜しそつに帰られていく姿が印象的でした。



(雨のなか山を散策)



(グリーンペースト作り)

イベント掲示板

2021.7.17(Sat) 19:30 Start
MusicCharge 投げ銭、Drink 持ち込み可
わらおこし：岐阜県郡上市和良町下洞554

鬼頭つくる
Kiyotoku Live!

2021.7.21(Wed) 19:30 Start
MusicCharge 投げ銭、Drink 持ち込み可
わらおこし：岐阜県郡上市和良町下洞554

きよふみ
Kiyofumi Live!

良良カフェ&認知症サポート
タ—養成講座@和良

と き：7月21日(水)
午後1時30分～3時30分

と ころ：わらおこし
(下洞554)
持 ち 物：マスク
飲 物 代：100円

和良町の人口

令和3年6月1日現在

